

協働通信

「ファミック祭り」を開催しました!

7月27日(金)に、まちづくり交流センター交流室にて、都留市ファミリー・サポート・センター(以下「ファミサポ」)主催の交流会を開催し、135名の親子のみなさんが遊びに来てくれました。参加者の方にお話を聞きました

■花田萌さん・桃ちゃん

ファミック祭りには今回初めて参加しました。自宅一人で子育てをするのは大変ですが、ファミサポの存在が助けになっています。交流センターには週2〜3回程来っていますが、ここで体を動かせるので、子どもも楽しそうです。



■交流室内はお祭りの飾り付けがされ、職員や提供会員が中心となって準備を進めた手作りのお店が並びました。



■くじびきやプラバンづくり、ヨーヨー釣りなど様々なお店で、子どもたちも楽しそうな様子。お子さんに人気だったのはさかな釣りだったそうです。

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター1階
▽開館
火〜日(祝日除)
8:30〜17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX(43)1322

■鹿嶋香奈さん・莉帆ちゃん

ファミック祭りは今回初めて参加しました。交流センターは週に1〜2回程度来ていますが、いつもお昼からおやつの間くらいまで利用していて、子どもはたくさん遊んで満足して、お昼寝しちゃうくらいです。こういう場所があると本当に助かります。

■奥本知佳さん・結衣ちゃん

ファミック祭りに来たのは2回目、交流センターは週に1〜2回程度利用しています。今日もさかな釣りやヨーヨーが楽しかったみたいで、一番はおやつが嬉しそうですね。ファミサポがあつて助かっています。

都留市ファミリー・サポート・センターからのお知らせ

ファミリー・サポート・センター事業は、地域の中で子育てを支え合う有償サービスです。センターでは、季節に合わせたイベントや子育てに関する講演会も無料で行っています。子育てで困っていることを相談できる場所がありますので、お気軽に足を運んでください。

問合せ先

都留市ファミリー・サポート・センター
(中央3-8-1 都留市まちづくり交流センター1階交流室)
☎(43)1330

地域のお知らせ

谷村地域

高校生災害ボランティアスクール

高校生を対象に、災害ボランティアに関する講演、実技指導を行い、認識を深め、具体的な活動の実践に役立てることを目的に実施します。

日時 9月7日(金)8時55分〜15時20分

場所 都留興譲館高等学校

問合せ先 都留市社会福祉協議会

☎(46)5115

夢実現ひろば「大学との交流」

都留文科大「路上ライ部」の皆さんと楽しく交流しましょう!

日時 9月20日(木)13時30分〜15時30分

場所 まちづくり交流センター 4階大ホール

問合せ先 まちづくり交流センター

☎(43)1321

開地地域

防災講演会 地域の防災力アップ「地区防災計画策定の重要性」

日時 9月26日(水)19時

場所 都留文科大附属小学校体育館

問合せ先

開地地域協働のまちづくり推進会
会長 荻窪 守

☎(43)7593

東桂地域

十日市場・夏狩湧水群遊歩道の草刈と清掃

日時 9月15日(土)8時30分

場所 関山産業裏側の駐車場広場

鹿留川河川敷公園の草刈と清掃

日時 9月22日(土)8時30分

場所 旧相川プレス工場裏の広場

持ち物 清掃できる服装、軍手、鎌
その他 エンジン刈払機をお持ちの方はご協力ください。

共通問合せ先

東桂地域コミュニティセンター
☎(45)6644

盛里地域

高齢者ふれあいの集い・文化展

日時 9月30日(日)10時〜15時

場所 旭小学校体育館

問合せ先 盛里地域コミュニティセンター

☎(48)2002

小学校三年生の昆虫の学習。今日のテーマは「すごいイモムシ！」嫌われたり、嫌がられたりするところが多いイモムシですが、彼らのすごいところを子どもたちと確かめていきます。

一つめのすごいは「体型」です。ずいぶん体短い足…格好良くはありませんが、食べることが仕事のイモムシにとつては食べたものがどんどん入る理想的なプロポーションです。でも、これでは他の動物たちの格好のぐちそうです。

そのための、一つめのすごいは「もよう」です。葉っぱの重なりに見事にとけ込むアゲハチョウの幼虫の模様など、敵に襲われないためのすばらしい工夫を身の回りのイモムシたちはしています。

三つめは「変身がすごい」です。オムラサキでは、イモムシスタイルから、大きな翼のあるチョウの姿へ大変身。口も、葉っぱをバリバリと食べる顎からストローに。他にも、カブトムシ、アブなどを例に、変身のすごさを紹介します。

四つめは「仕事がすごい」です。オムラサキの幼虫がエノキの葉っぱを食べるところをビデオで見せまします。早送りかと思うほどの勢いでバリバリとひたすら食べます。そして、うんちをします。このうんち、よく見ると葉っぱのみじん切りを团子にしたもの。イモムシたちは植木屋さんのように葉っぱを食べて、その一部を栄養にして体をつくり、残

りを糞として地面におとし、土地を豊かにしていると言えそうです。

五つめは「数がすごい」です。昆虫はたくさん卵を産みます。モンシロチョウでいえば300個ぐらい産むそうです。でも計算上、親として次の世代を残せるのは2匹です。他の298匹のきょうだいはどうなるのでしょうか。鳥が雛に餌の虫を運ぶビデオを見せます。親鳥は朝早くから暗くなるまで雛に虫を運びます。単純計算として、10羽の雛が一日10匹のイモムシを食べる。それが10日続いたとしたらイモムシは1,000匹必要になります。身近な自然環境の中には、他にも虫たちを餌とする多くの動物がいます。彼らが生きていけるのは実は大人になれずに食べられてしまう298匹のきょうだいのおかげなのです。葉っぱをむしやむしや食べて体をつくり、食べられることによって自然を支えるイモムシたちのすごさを子どもたちは実感してください。

子どもの頃、生き物が好きで、捕まえていたりしても、大人になるにつれてだんだんと自然から離れていく傾向が感じられます。でも、好きにはなれなくても大切なんだという気持ちを持ち続けてほしいと思います。そして、理科で学んだことを、普段の生活の中でも意識して、身近な地域の自然とのよい関係を作っていくってほしいと思います。

連載・青少年健全育成シリーズ 第326回

「すごいぞイモムシ」

青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況は、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄